



上智大学  
SOPHIA UNIVERSITY

# 上智大学 国連Week June, 2016 6月6日(月)~11日(土)

本学では6月6日から11日まで「上智大学国連Week」として、さまざまなイベントを開催します。国連の活動を通じて、世界と私たちの未来について一緒に考えてみませんか？



## ● シンポジウム

### 「開発と人道支援における日本と市民社会の役割—世界人道サミットを受けて」

日時 / 6月10日(金) 17:30 ~ 19:30 (開場17:00)

場所 / 四谷キャンパス2号館17階 国際会議場

内容 / 《 基調講演 》

大島 賢三 氏

アフリカ協会理事長、元国連大使、元国連事務次長(人道担当)

《 パネル討論 》

弓削 昭子 教授 法政大学大学院政治学研究科、元UNDP事務次長補

滝澤 三郎 教授 日本UNHCR協会理事長、元東洋英和女学院大学教授

長 有紀枝 教授 立教大学社会学部、難民を助ける会理事長

植木 安弘 教授 上智大学総合グローバル学部、元国連広報官

5月23・24日にトルコのイスタンブールで開催された「世界人道サミット」の内容を踏まえ、元国連大使でアフリカ協会理事長の大島賢三氏による基調講演と国際協力分野の識者によるパネルディスカッションを実施します。



大島 賢三 氏



弓削 昭子 教授



滝澤 三郎 教授



長 有紀枝 教授



植木 安弘 教授

対象 / 本学学生および教職員、高校生、一般の方

要事前申込み

共催 / 上智大学、日本国際連合学会

●申込方法 / 下記QRコード、又は <https://eipo.jp/sophia/> よりお申込み下さい。先着200名

## ● ILO (国際労働機関) 写真展

予約不要

"NO ONE SHOULD WORK THIS WAY" : Preventing the Abuse of Domestic Workers

"誰にもこんな思いはさせたくない"

家事労働者の虐待防止

日時 / 6月6日(月)~6月11日(土) 9:30~17:00

※初日12:45より、ILO駐日代表の田口晶子氏をお招きして  
オープニングセレモニーを開催します。ぜひお越しください。

場所 / 四谷キャンパス2号館1階エントランスホール

主催 / 上智大学 協力 / ILO駐日事務所

2011年に家事労働者の権利に関するILOの新しい条約が発効しました。しかしこの条約の批准国は現時点で20カ国に達していません。報道写真家Steve McCurry氏撮影による作品を通じて、世界で今も続いている家事労働者虐待の現実について考えてみましょう。

各イベントへの参加申込みはこちらからどうぞ

<https://eipo.jp/sophia/>





# 上智大学 国連Week June, 2016

6月6日(月)～11日(土)

## THE UNITED NATIONS WEEK

### フォトジャーナリスト×国際協力のプロ

#### イラクの今を伝える ～ 紛争下に生きる人々を追って

日時 / 6月6日(月) 18:00～20:00 (開場 17:00)

場所 / 四谷キャンパス2号館17階 国際会議場

内容 / 安田 菜津紀氏 フォトジャーナリスト

原 昌平氏 JICA援助協調室長、前JICAイラク事務所長

植木 安弘 教授 上智大学総合グローバル学部、元国連広報官

対象 / 本学学生および教職員、高校生、一般の方

**要事前申込み**

共催 / 上智大学国際協力人材育成センター、国際協力機構 (JICA)

協力 / なんとかしなきゃ!プロジェクト

●申込み方法 / おもて面に掲載のQRコード、又は <https://eipo.jp/sophia/> よりお申込み下さい。 **先着200名**

第1部では本学卒のフォトジャーナリスト安田菜津紀氏と前JICAイラク事務所長で国際協力機構企画部援助協調室長の原昌平氏が、それぞれの目線で今のイラクについてプレゼンテーションを行います。第2部では、本学植木教授を加えてディスカッションを行います。



安田菜津紀氏



原 昌平氏

当日は、17:30より、「わたしが見た、持続可能な開発目標 (SDGs)」学生フォトコンテストのローンチセレモニーを審査員の安田菜津紀氏も交えて開催いたします。ぜひお早めにお越しください。

### シンポジウム「多文化社会構築への挑戦ーボスニア・ヘルツェゴビナの今」

日時 / 6月9日(木) 17:00～18:50 (開場 16:30)

場所 / 四谷キャンパス2号館17階 国際会議場

内容 / 【第一部】

#### ■ ボスニア紹介

片柳 真理 教授 広島大学大学院国際協力研究科、元ボスニアOHR職員

#### ■ ビデオメッセージ

ヴァレンティン・インツコ氏 ボスニア・ヘルツェゴビナ上級代表 (OHR)

#### ■ トークセッションビデオ上映

宮本 恒靖氏 元サッカー日本代表キャプテン、現ガンバ大阪ユース監督

柳澤 寿男氏 バルカン室内管弦楽団音楽監督、コンポフィルハーモニー交響楽団首席指揮者

小松 太郎 教授 上智大学総合人間科学部、元国連UNESCOボスニア事務所教育担当官

【第二部】

#### ■ パネル・ディスカッション 「多文化社会の構築とボスニアの教訓」

山崎 日出男氏 迎賓館館長、前在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使

ラリサ・カスマギッチ-カフエジッチ博士 サラエボ大学哲学部

片柳 真理 教授 広島大学大学院国際協力研究科

植木 安弘 教授 上智大学総合グローバル学部、元国連広報官

対象 / 本学学生および教職員、高校生、一般の方

**要事前申込み**

言語 / 日本語・英語 (同時通訳あり)

主催 / 上智大学 後援 / 日本国外務省、在日ボスニア・ヘルツェゴビナ大使館

●申込み方法 / おもて面に掲載のQRコード、

又は <https://eipo.jp/sophia/> よりお申込み下さい。 **先着200名**

ボスニア紛争から20年。いまだ民族対立が残るこの国で、地道ではあるが、民間間の信頼関係回復のための活動も実施されている。ボスニア・ヘルツェゴビナの「いま」について理解を深め、この国の経験が急速に多文化化する世界に示唆することを考えます。



「ボスニアでの取り組みを語る宮本恒靖氏、柳澤寿男氏、小松太郎教授」

### 同時開催 ボスニア・ヘルツェゴビナ出身アーティストの作品展

#### All We Could Have Done 「私たちにできたこと (そしてこれからできること)」

東サラエボ大学芸術アカデミーの学生による作品26点を展示。また、日本滞在経験のあるボスニア人版画家ヤシャレヴィチ氏、日本画に影響を受けた芸術家カフエジッチ (ムハ) 氏による大型作品も展示されます。

日時 / 6月9日(木) 9:30～19:00

【予約不要】

場所 / 四谷キャンパス2号館17階

協力 / 東サラエボ大学芸術アカデミー、ムハメッド・カフエジッチ (ムハ) 氏、タイダ・ヤシャレヴィチ氏

### 日本国際連合学会

日時 / 6月11日(土) 10:00～17:45 (開場 9:30)

場所 / 四谷キャンパス2号館17階 国際会議場

テーマ / 日本の国連加盟60周年

内容 / 詳細は日本国際連合学会ホームページ (<http://www.jauns.net/>) をご確認ください。

対象 / 日本国際連合学会員 ※上智大学生は無料で各会議の傍聴が可能です。事前申込み不要



## 「わたしが見た、持続可能な開発目標 (SDGs)」学生フォトコンテスト募集中!



今回、国連広報センターと上智大学の共催、ゲッティイメージズの協力により、大学生・大学院生・専門学校生を対象に (日本在住の方に限られません)、「わたしが見た、持続可能な開発目標 (SDGs)」をテーマにフォトコンテストを開催いたします。撮影場所は、日本国内・国外を問いません。17項目から関心のあるテーマを1つ選び、写真で表現してください。

写真1枚でストーリーを語り、疑問を投げかけるようなジャーナリティックものではなく、あなたの思いを表現したコンセプチュアルかつクリエイティブな写真を歓迎します。

●コンテストの詳細は以下のサイトからご確認ください [http://www.unic.or.jp/news\\_press/info/17924/](http://www.unic.or.jp/news_press/info/17924/)

